

AI 翻訳透明ディスプレイ導入実証を 都営バス 浅草エリアで開始します！

東京都ではバス運転士の担い手不足が深刻化する中、訪日外国人の増加に伴い、バス運転士の多言語対応の需要が高まっています。また、聴覚・言語障害者を含む誰もが安心して利用できる環境づくりが求められています。こうした背景を踏まえ、バスの運転席周辺にAI 翻訳透明ディスプレイを設置し、多様な利用者とのコミュニケーションにおける有効性・利便性を検証しつつ、バス運転士の負担軽減やAI 翻訳透明ディスプレイ導入に向けた課題整理・検討を実施します。

昨年11月に渋谷エリアで実施した導入実証に続き、今回は訪日外国人利用者が特に多い浅草エリアに停留所がある都営バス路線にて導入実証を実施し、より幅広い利用者からの声を把握しつつ、利便性や運用上の課題をさらに検証していきます。



【運行概要】

- 運行期間：令和8年1月15日（木）～29日（木）
- 対象系統
都02（大塚駅～錦糸町駅）、草63（池袋駅東口～浅草寿町）、草64（池袋駅東口～浅草雷門南）
- 関係者：民間事業者(AI 翻訳透明ディスプレイの提供)：TOPPAN 株式会社

本件は、「[2050 東京戦略](#)」を推進する取組です。

戦略18 インフラ・交通

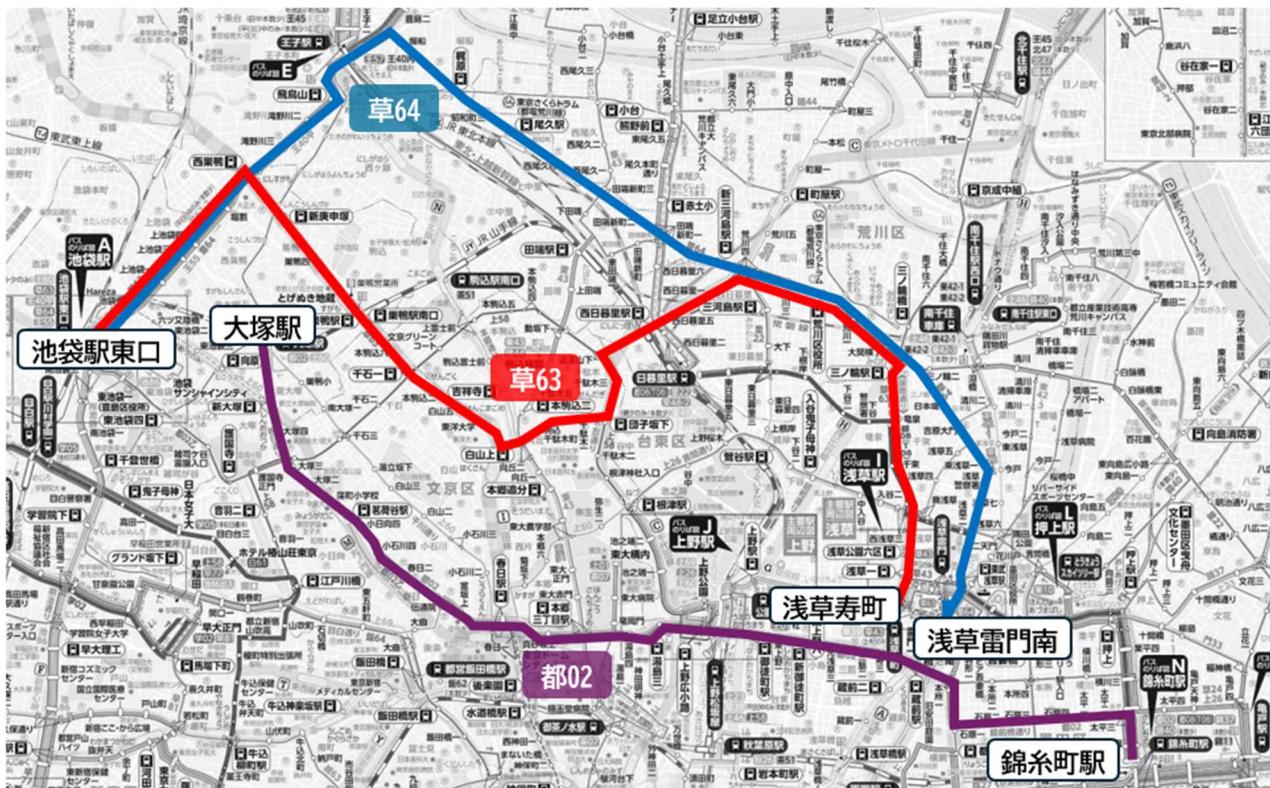
「まちをつくり、まもる担い手・原動力の確保」



▲2050 東京戦略



運行ルート図



【問い合わせ先】

(AI 翻訳透明ディスプレイ導入実証に関すること)

都市整備局都市基盤部モビリティ政策課 : 03-5618-4558

(都営バスに関するこ)

都営交通お客様センター : 03-3816-5700 (9 時から 20 時まで 年中無休)



都市せいっぴ